

第10次中期運営要綱

計画期間 令和5年度～令和7年度



茨城経協

一般社団法人 茨城県経営者協会

Ver6.0.2

目次

| | | |
|-----------------------|-----------|--------|
| 1. 会員満足度調査 | 1～3 | |
| ○会員満足度調査の実施 | | |
| ○会員満足度調査の結果 | | |
| ○会員満足度調査の結果から見える会員ニーズ | | |
| 2. 第9次中期運営要綱の成果と課題 | 4～6 | |
| 3. 長期ビジョン（10年先を見据えて…） | 7～8 | |
| 4. 第10次中期運営要綱 | 9～11 | |
| ○基本方針／スローガン | | |
| ○長期ビジョン実現に向けての3年間 | | |
| 5. 第10次中期運営要綱（取組項目） | 12～15 | |
| ○3つの重点取組項目 | | |
| 情報発信 | 旬な経営課題に対応 | 場の創出 |
| ○3つの継続取組項目 | | |
| 地域貢献 | 政策提言 | 事務局の強化 |
| ○各支部・各委員会・各会員の活動イメージ | | |

6. アクションプラン（数値目標の詳細） 16～20

- 会員数増強
- アクションプランの着実な実行
- 事業参加率向上

[注釈] 『アクションプラン管理シート』は別冊資料として作成。

1-1. 会員満足度調査の実施

1. 目的

第10次中期運営要綱（令和5～7年度）の策定にあたり、会員が経営者協会に何を期待し、どのような事業内容を希望しているかなどを把握するとともに、今後の3ヶ年計画の基礎資料とするために実施。

2. 調査方法

(1) 調査実施期間：令和4年10月25日～11月15日

(2) 会員1,287社（令和4年9月30日現在）に対し「会員満足度調査票」を郵送・電子メール・メルマガ配信する方法で実施。

(3) 回答方法については以下の方法にて実施。

- ①調査票を郵送にて返送 : 202社 (53.6%)
- ②調査票をFAXにて返送 : 33社 (8.7%)
- ③電子メールにて返送 : 0社 (0.0%)
- ④HPからのWebによる回答 : 142社 (37.7%)

(4) 調査総数：1,287社 / 有効回答：377社 (回答率 29.3%) [2022.12.19現在]

3. 調査項目

会社名・所在地・所属・役職・氏名

質問内容 ①経営者協会が行っている事業内容、情報提供、会員サービスについてお聴かせください。

②当協会に何を期待されていますか？上位3つを選び、期待される順に選択して下さい。

③当協会にどのような情報・資料の提供を希望していますか？上位3つを選び、希望される順に選択して下さい。

④今後3年間で当会の活動で強めて欲しい分野をお聴かせ下さい（複数回答可）。

⑤当協会の『HP』『会報誌「茨城経協」』『メールマガジン』につきまして、閲覧しやすい（見やすい）構成と思われますか。

⑥DX（デジタルトランスフォーメーション）について、貴社のレベル感をお聴かせ下さい。

⑦貴社における経営上の課題を短期と長期に分けてお聴かせ下さい。

⑧今後、当協会に取組んで欲しい事項やお困りごと、ご意見・ご要望等ございましたら、ご記入ください。



1-2. 会員満足度調査の結果

設問1. 当会の行っている事業内容・情報提供・会員サービスについてお聴かせ下さい。

満足 (87票)

おおむね満足 (226票)

どちらでもない (64票)

やや不満 (0票)

不満 (0票)

満足～おおむね満足 (313票・83%)

どちらでもない～不満 (64票・17%)

設問2. 当会に最も何を期待されていますか？

得票数 第1位

得票数 第2位

得票数 第3位

優先順位第1位

情報の収集・提供 (122票)

人的交流・ネットワークづくり (123票)

経営者・管理者・従業員の研修事業 (46票)

優先順位第2位

情報の収集・提供 (114票)

人的交流・ネットワークづくり (63票)

経営者・管理者・従業員の研修事業 (58票)

優先順位第3位

経営者・管理者・従業員の研修事業 (61票)

情報の収集・提供 (47票)

行政施策に対する提案・要望活動 (44票)

総合計順位

情報の収集・提供 (283票)

人的交流・ネットワークづくり (223票)

経営者・管理者・従業員の研修事業 (165票)

設問3. 当会にどのような情報・資料の提供を希望していますか。

得票数 第1位

得票数 第2位

得票数 第3位

優先順位第1位

今後の経営環境 (70票)

賃金・退職金など労働条件 (62票)

人材情報・雇用管理情報 (50票)

優先順位第2位

今後の経営環境 (53票)

人材情報・雇用管理情報 (50票)

働き方改革 (44票)

優先順位第3位

人材育成事例 (41票)

働き方改革 (37票)

今後の経営環境 (34票)

総合計順位

今後の経営環境 (157票)

人材情報・雇用管理情報 (126票)

賃金・退職金など労働条件 (121票)

1-3. 会員満足度調査の結果から見える会員ニーズ

設問4. 今後3年間で当会の活動で強めて欲しい分野をお聴かせ下さい。

| 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 | 第6位 |
|----------------|-------------|------------|----------------|----------------|--------------|
| デジタル化IT化(181票) | 働き方改革(139票) | 人材採用(127票) | ビジネスの新業態(120票) | 社員のやる気向上(106票) | SDGs推進(101票) |

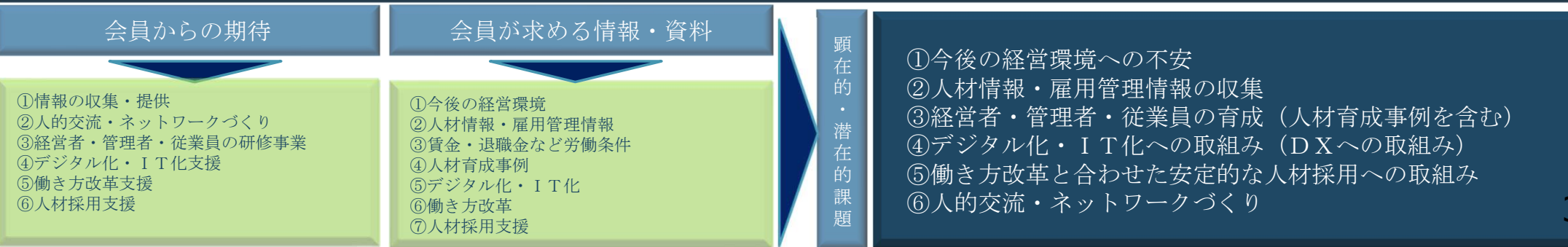
設問5. 当会の『HP』『会報誌』『メルマガ』につきまして、閲覧しやすい(見やすい)構成と思われますか？

| | 思う | 思わない | 思わない理由 |
|------|----------|-----------|----------------------------|
| HP | 思う(337票) | 思わない(19票) | 思わない理由: レイアウト・字数が多い・字数が少ない |
| 会報誌 | 思う(346票) | 思わない(16票) | 思わない理由: レイアウト・字数が多い・字数が少ない |
| メルマガ | 思う(317票) | 思わない(27票) | 思わない理由: レイアウト・字数が多い・その他 |

設問6. DX(デジタルトランスフォーメーション)について、貴社のレベル感をお聴かせ下さい。

| | 理解している | 概ね理解している | 理解が不十分 | まだこれから | 割合 |
|----------|-------------|----------------|--------------|--------------|----------------|
| DX総論 | 理解している(44票) | 概ね理解している(169票) | 理解が不十分(101票) | まだこれから(45票) | 不十分以下 : 43% |
| 業務フロー洗出し | 出来ている(21票) | 概ね出来ている(114票) | 洗出し中(115票) | まだこれから(106票) | 洗出し中以下 : 64% |
| 業務改善 | 出来ている(11票) | 概ね出来ている(86票) | 改善策検討中(173票) | まだこれから(87票) | 改善策検討中以下 : 74% |

会員満足度調査の結果から見える会員ニーズ



2. 第9次中期運営要綱の成果と課題

2-1. 第9次中期運営要綱の成果と課題

第9次中期運営要綱の振り返り

第9次中期運営要綱（以下、第9次要綱）では『会員、地域、時代からの要請に応え、会員企業と地域経済の持続的発展に貢献します』をスローガンに、『情報発信』『旬な経営課題に対応』『場の創出』を重点取組項目として取組んできました。

しかしながら、第9次要綱スタート直後から、コロナ禍により活動・行動が制限され、会員が期待する経協活動が展開できなかった面は否めないと考えます。また、事務局による『会員へのフォロー』も訪問活動が制約される中、会員に寄り添った顕在的・潜在的なニーズの把握も困難を強いられました。この振り返りは『会員満足度調査』の結果からも伺えるものと考えます。

一方で、『情報発信』『旬な経営課題に対応』は、第10次中期運営要綱（以下、第10次要綱）の策定に向け、一筋の光明を見出す成果も得られました。これは、『with コロナ』に向けた『場の創出』の一助となるものであり、新たな『会員交流機会の拡充(質量両面の充実)』に繋がるものと考えられます。

苦戦を強いられた第9次要綱ではありましたが、会員各社のネットワークの強さから、会員数は増加トレンドを維持し、全国でも有数の会員数を誇る経営者協会となっております。コロナ禍影響の有無にかかわらず、全会員が参加可能となるような運営体制を構築し、会員満足度向上に向けた各種課題を克服してまいります。

取組事項

成果

課題

重点取組項目 (情報発信)

新しい時代の経営に役立つ情報を積極的に発信していきます

- ① コロナ禍を契機として、非対面形式の各種セミナー・研修を企画・立案・実行。新しい情報発信手法（WEB）を活用した情報発信体制を構築した。
- ② 会員のコロナ禍対応・社会貢献活動を契機に、タイムリーな情報発信体制の定着化が一段進展した。
- ③ 『魅力度・認知度UP推進委員会』の立上げ・活動をもって、茨城の魅力を広く発信。

- ① 事務局と各会員の面会機会が低下し、会員ニーズの顕在的・潜在的なニーズ取得に苦戦。
- ② 事業に参画できていない会員へのアプローチも同様。
- ③ より魅力ある情報の発信・チャネルの標記表現方法の創意工夫。
(各会員への情報伝達力向上が課題) **5**

2-2. 第9次中期運営要綱の成果と課題

| 取組事項 | 成果 | 課題 |
|---|---|--|
| <p>重点取組項目 (旬な経営課題に対応) 会員の経営環境の変化に応じた “旬”な経営課題に対応します</p> | <p>①士業ネットワークの構築により、タイムリーな経営課題解決に向けた間口を創出した。</p> <p>②ITコーディネーター茨城とのタイアップにより、各会員企業のデジタル化・IT化・DXへの糸口を構築した。</p> <p>③2050年カーボンニュートラルに向け、行政機関・支援機関等との連携がなされ、脱炭素政策・支援施策等の情報提供が進展した。</p> <p>④産業政策委員会主催で、以下のテーマで会員7社の取組み事例を共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『新しい働き方、IT等を活用した業務改善取組事例』 ・『人材定着への取組事例』 ・『自社におけるSDGs実現に向けた取組事例』 <p>⑤リカレント教育の啓蒙のため、茨城大学との産学連携で対応。</p> | <p>①DXへの取組みはまだ初期段階であり、裾野拡充が必要。</p> <p>②先進事例・成功事例の共有活動の促進。</p> <p>③会員企業間における同業務担当者との交流会活性化。</p> |

| 取組事項 | 成果 | 課題 |
|---|---|--|
| <p>重点取組項目 (場の創出) より多くの会員が参加しやすい “場”を創出します</p> | <p>①各委員会・各支部において『役員幹事増員（公募制）』『女性経営者の事業参画促進』があり、組織の活性化と強化が図られた。</p> <p>②コロナ禍を契機として、会員間の連携の場が深化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『医療・介護福祉事業所への支援（マスク寄贈）』 ・『医療従事者応援金の寄付』 ・『ウクライナへの人道支援寄付金贈呈』 <p>③『情報発信』で述べたように、『WEB配信（LIVE・OnDemand）』が浸透したことで、支部・委員会の垣根を超えた場の創出が可能となった。</p> | <p>①BtoBプラットフォームの構築とカットオーバー。</p> <p>②『with コロナ』を踏まえた交流機会の創出。</p> <p>③世代・役職を意識した研修・セミナー体系の構築。</p> |

[課題の総括～真に必要とされ続ける茨城県経営者協会を目指して～]

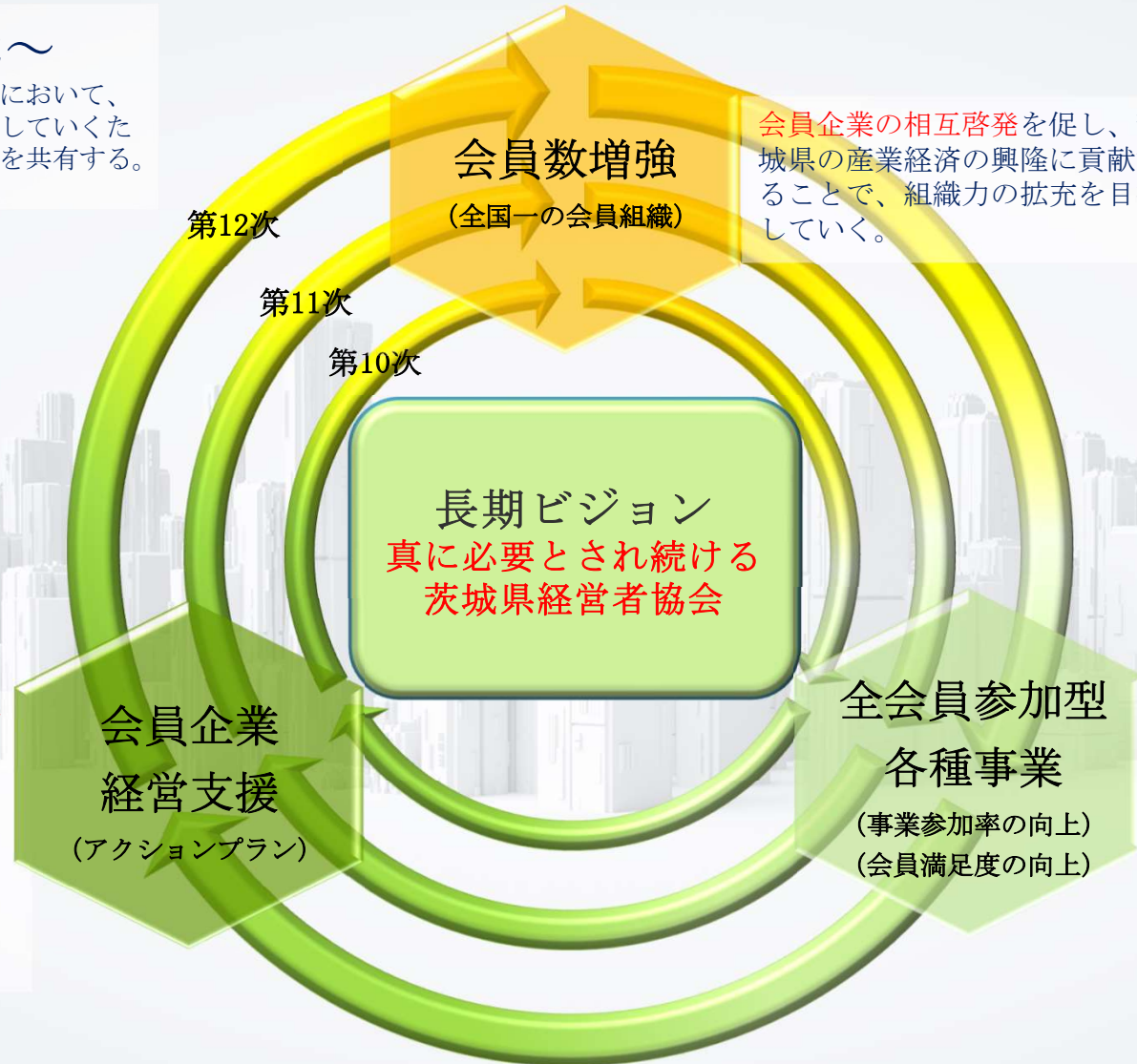
『会員満足度調査』から見える『茨城県経営者協会』への会員の普遍的期待は、『情報発信』『旬な経営課題に対応』『場の創出（交流）』に集約できる。3年先、10年先も会員企業から必要とされ続けるためにも、会員企業の“期待”をよりの確に捕捉し、全会員による積極的な事業参画を促していく基盤醸成が求められる。

3. 第10次中期運営要綱 (長期ビジョン／10年先を見据えて…)

3. 長期ビジョン（10年先を見据えて…）

～Road to 2032～

会員企業の経営環境が変革していく中において、茨城県経営者協会の目的・理念を実現していくため、当協会が目指すべき姿のイメージを共有する。



会員企業の相互啓発を促し、茨城県の産業経済の興隆に貢献することで、組織力の拡充を目指していく。

会員企業が求める『旬な経営情報』の発信に努め、より魅力ある各種事業を提供することで、全会員参加型の運営を目指していく。

有用かつ有益な情報収集に努め、会員企業の気付きを促進していく。魅力的なコンテンツを提供し、会員企業の持続的発展を支援していく。

- * 情報発信
- * 旬な経営課題に対応
- * 場の提供（交流）

4. 第10次中期運営要綱
(基本方針／スローガン)
(長期ビジョン実現に向けての3年間)

4-1. 第10次中期運営要綱（基本方針／スローガン）

第9次中期運営要綱 スローガン

会員、地域、時代からの要請に応え、会員企業と地域経済の持続的発展に貢献します。



パートナーシップ構築宣言

『会員企業』『価値創造を図る事業者』との連携・共存を進めるための重点取り組み宣言

- (1) サプライチェーン全体での付加価値向上を図る。
- (2) 企業規模等を超えた連携により、会員企業と取引先の共存共栄の構築を目指す。
- (3) 災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、テレワーク導入やBCP策定の助言等の支援を進める。
 - ①会員企業のデジタル化・IT化支援
 - ②会員企業の人材確保支援
 - ③会員企業の産学連携支援
- (4) 会員企業の生産性・収益性向上を目指し、各種組織・専門家集団と連携し、会員企業の経営課題に向けた支援を実行する。



会員企業
の
課題解決

時代の潮流
茨城県経営者協会
時代の変革

活力ある
地域社会
づくり



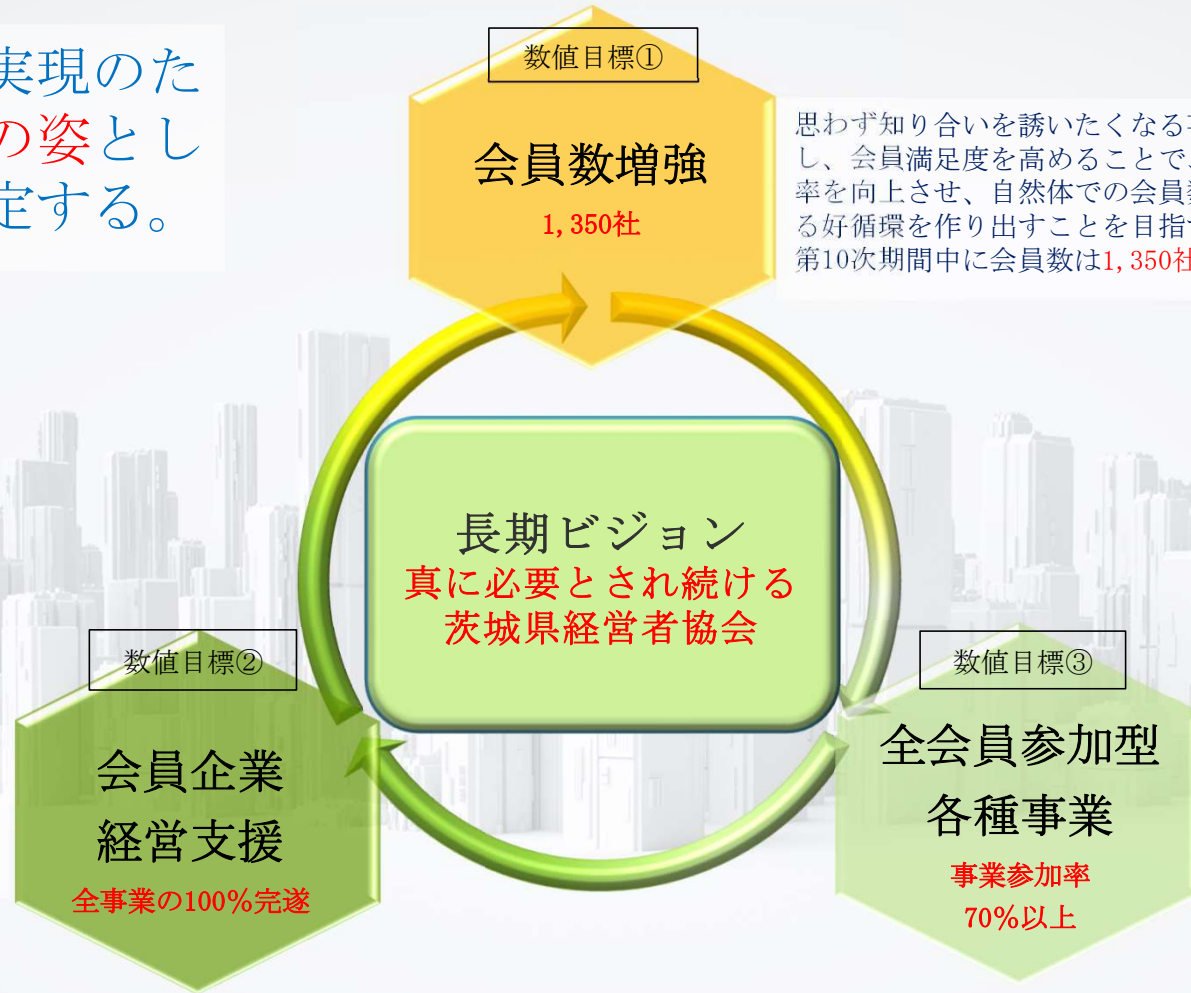
第10次中期運営要綱 スローガン

時代の潮流・変革にチャレンジし、会員企業と共に活力ある地域社会づくりをリードします。

4-2. 第10次中期運営要綱（長期ビジョン実現に向けての3年間）

『長期ビジョン』実現のための**第1フェーズの姿**として、**数値目標を設定する。**

交流会、研修・セミナーなどの個別事業を『見える化（点数化）』することで3年間の進捗を計測し、着実な実行に繋げていく。



数値目標①

会員数増強

1,350社

思わず知り合いを誘いたくなる事業を企画し、会員満足度を高めることで、事業参加率を向上させ、自然体での会員数増強に至る好循環を作り出すことを目指す。
第10次期間中に会員数は**1,350社**を目指す。

数値目標②

会員企業
経営支援

全事業の100%完遂

数値目標③

全会員参加型
各種事業

事業参加率
70%以上

魅力あるコンテンツの発信等により、会員の事業参加率の向上を目指す。
第10次期間中に**参加率70%以上**を目指す。

～数値目標の定義～

- ① 研修・セミナー・講演会・交流会等の経協事業への1回以上の参加企業数をカウントする。
- ② 計測期間は年度単位とする。
- ③ 参加率 = 参加数 / 総会員数
 - ・ 2023年度参加率：50%
 - ・ 2024年度参加率：60%
 - ・ 2025年度参加率：70%

5. 第10次中期運営要綱 (取組項目)

5-1. 取組項目（重点取組項目／第10次中期運営要綱）

3つの 重点取組項目

情報発信

時代の潮流・変革に則した経営情報を発信していきます。

- ◆時代の潮流・変革を機敏に捕捉し、『会員満足度調査』から見える会員ニーズを踏まえた情報発信を強化していきます。
- ◆情報発信においては、**経協チャンネル（HP・会報・メルマガ等）**の利便性向上に努めてまいります。

旬な 経営課題 に対応

会員に寄り添い“顕在的課題・潜在的課題”に対応していきます。

- ◆『会員満足度調査』から見える会員ニーズを踏まえ、『デジタル化・IT化』を始めとした、**会員企業のDX取組みにも対応**してまいります。
- ◆経協の強みである**労務問題を核としながら**、会員希求度の高い『働き方改革』『人材採用』に関連した“旬”な経営課題をテーマに、**講演会・セミナー・事業研修を体系的に開催**します。

場の創出

多くの会員が参加しやすい“場”を創出します。

- ◆会員同士のシナジー発揮を目的として、先進的事例や成功事例等の共有、同業務担当者の人脈づくりを支援する**交流機会の創出**に努めてまいります。
- ◆**チャンネル拡充や事業開催地の再編**により、会員に身近に感じられる事業を開催に努めます。
- ◆支部・委員会の体制強化により**会員の事業参画度**を高めてまいります。
- ◆会員（新入会員・既存会員）への適切なフォローにより事業参加への好循環を創出します。

5-2. 取組項目（継続取組項目／第10次中期運営要綱）

3つの 継続取組項目

地域貢献

地域社会への貢献活動を強化します。

- ◆会員企業を主体とした地域社会への貢献活動、大学や関係団体との連携事業、安全安心なまちづくり運動を継続的に実施していきます。

政策提言

政策提言力を向上します。

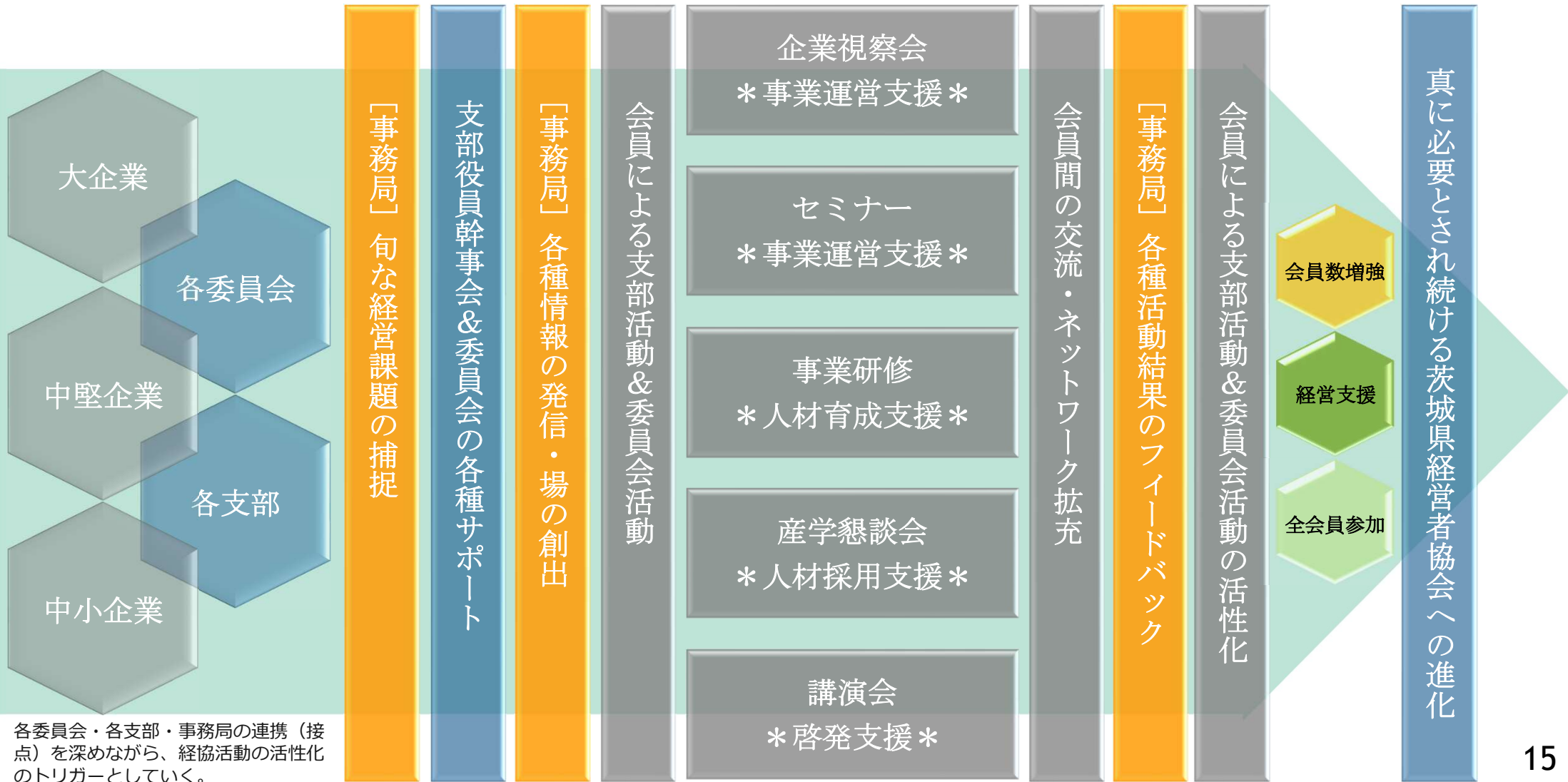
- ◆行政に対する会員ニーズを把握し政策提言に反映します。
- ◆行政・関係団体と連携し、会員と行政等との相互理解を促進していきます。

事務局の強化

事務局の体制を強化します。

- ◆各種アンケート等の調査結果の即時フィードバックと課題洗い出しで、各事業のPDCAの活性化を図ることに努めます。
- ◆幅広い会員層との接点を強化すべく、事務局訪問活動強化のほか、『交流』と『学び』を両立する全会員参加型の企画立案に取り組んでまいります。
- ◆魅力ある経協事業企画立案・全会員参加型の事業運営の達成に向け、経協活用手法の情宣活動に注力してまいります。

5-3. 取組項目 (各支部・各委員会・各会員の活動イメージ)

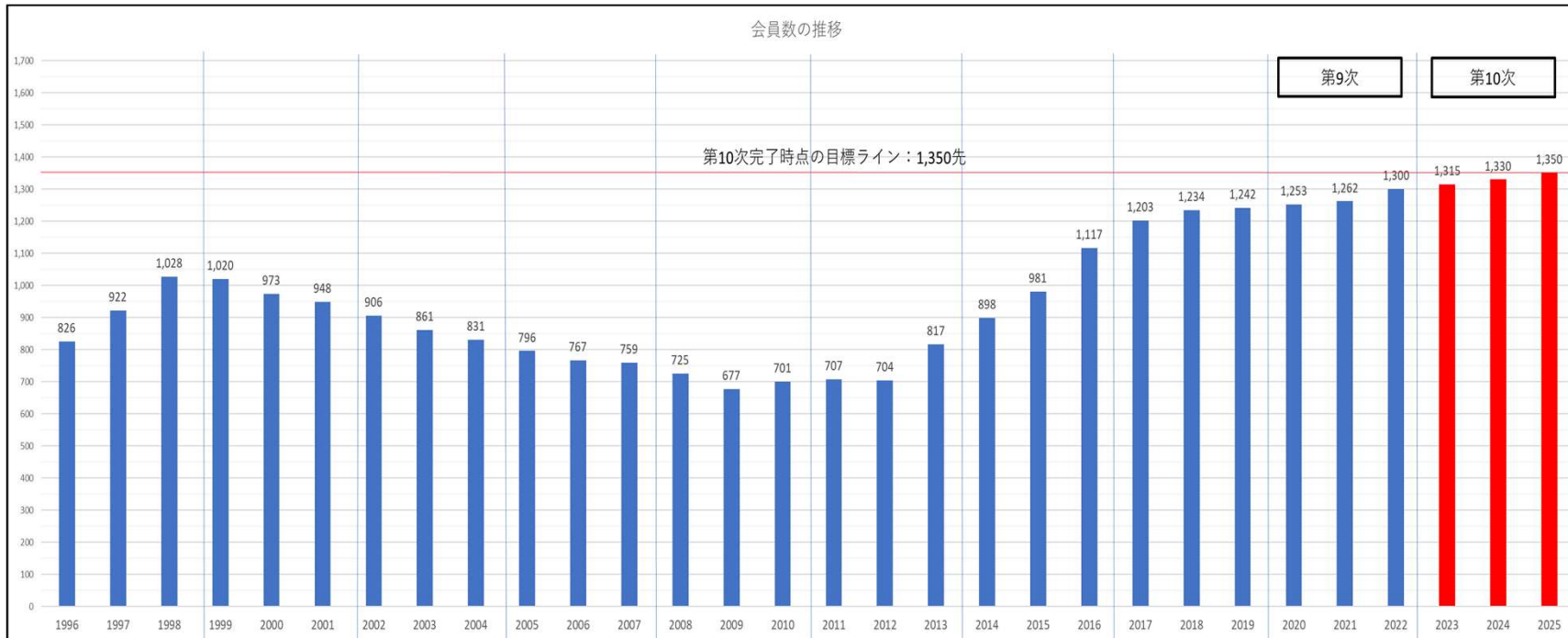


各委員会・各支部・事務局の連携（接点）を深めながら、経協活動の活性化のトリガーとしていく。

6. アクションプラン (数値目標の詳細)

6-1. 3年後の目指すべき姿 (数値目標①)

- (1) 会員数1,350先へ増強
- ①2022年度：1,300先 (第9次完了時点)
 - ②2023年度：1,315先 (第10次 初年度)
 - ③2024年度：1,330先 (第10次 次年度)
 - ④2025年度：1,350先 (第10次最終年度)
- (2) 事業規模にかかわらず、あらゆる経営者層が参画する組織を目指す。
- (3) 会員相互の啓発やシナジー効果を発揮させていく上でも、裾野拡充は必要不可欠。
- (4) 全国一の会員数組織を目指し、具体的な会員数増強目標を掲げるものとする。



【参考：都道府県別企業数と経営者協会会員数】

| | 2021年度版 中小企業白書 企業数 | 各県経協 会員数 | 入会率 |
|------|--------------------------|-------------|-------|
| 千葉県 | 121,018 | 1,573 | 1.30% |
| 東京都 | 417,988 | 1,286 | 0.31% |
| 茨城県 | 79,542 | 1,272 | 1.60% |
| 埼玉県 | 161,613 | 606 | 0.37% |
| 神奈川県 | 188,015 | 351 | 0.19% |
| 群馬県 | 65,007 | 298 | 0.46% |
| 栃木県 | 60,157 | 277 | 0.46% |

*企業数：中小企業庁『2021年版 中小企業白書（2016年実数）』より抜粋

*会員数：茨城県経営者協会 事務局調査（2022.8.31現在）による。

6-2. 3年後の目指すべき姿 (数値目標②)

(1) アクションプランの着実な実行

- ①2023年度：達成率 30%以上 (第10次 初年度)
- ②2024年度：達成率 60%以上 (第10次 次年度)
- ③2025年度：達成率100%以上 (第10次最終年度)

* 第10次要綱完了時点において、全事業が達成率100%となることを目標とする。

- (2) 第10次要綱においては、研修事業・セミナー等の各種事業を「見える化」する。
- (3) 具体的には、年度単位で1事業・最大2点。第10次完了時で1事業・最大6点。

- ①計画未完：0点
- ②計画完了：1点 (累計1点/年)
- ③実行完了：1点 (累計2点/年)

× 3 年

* 各年度のアクションプランは、各年度毎に『支部役員幹事会』『各委員会』で企画立案・事業進捗状況を精査していく。
* 総務委員会では、各支部・各委員会のアクションプランを再精査し、次年度以降に向けての予算編成、第10次要綱のバージョンアップを検討していく。

| No. | 第10次アクションプラン | | 2022/12/22現在 | | 2023年度 (令和5年度) | | | | 2024年度 (令和6年度) | | | | |
|---------|-------------------|------------------------------|--------------|-----|------------------------------|------|--|----|----------------|------|--|--|--|
| 1 | 長短区分 | 中期 | | | 2023.5月 企画・立案 ⇒ 2023.10月 実行 | | | | | | | | |
| | 方針分類 | 【企業見学会】 | | | 収入 | | | | 収入 | | | | |
| | 重点取組 | 2019：東海第二発電所 2020：コロナ禍で中止 | | | 支出 | | | | 支出 | | | | |
| | 優先順位 | 2021：コロナ禍で延期 | | | 差異 | | | | 差異 | | | | |
| | 普通 | 2022：日立製作所 大みか事業所 | | | 事業参画状況 | | | | 事業参画状況 | | | | |
| | 難易度 | 2023：検討中 | | | 定員 | | | | 定員 | | | | |
| 普通 | 第10次アクション評価 | | | 参加 | | | | 参加 | | | | | |
| 担当セクション | 主担当 | 副担当 | 満点 | 評価点 | 達成率 | 進捗点数 | | | | 進捗点数 | | | |
| 常陸那珂 | 加藤丈 | 澤畑英 | 6点 | 0点 | 0.0% | 0点 | | | | 0点 | | | |
| 2 | 長短区分 | 短期 | | | 2023.5月 企画・立案 ⇒ 2023.7~8月 実行 | | | | | | | | |
| | 方針分類 | 【事業研修1】 | | | 収入 | | | | 収入 | | | | |
| | 継続取組 | 2019：幹部中堅リーダー養成講座 | | | 支出 | | | | 支出 | | | | |
| | 優先順位 | 2020：幹部中堅リーダー養成講座 | | | 差異 | | | | 差異 | | | | |
| | 普通 | 2021：幹部中堅リーダー養成講座 | | | 事業参画状況 | | | | 事業参画状況 | | | | |
| | 難易度 | 2022：幹部中堅リーダー養成講座 | | | 定員 | | | | 定員 | | | | |
| 普通 | 2023：幹部中堅リーダー養成講座 | | | 参加 | | | | 参加 | | | | | |
| 担当セクション | 主担当 | 副担当 | 満点 | 評価点 | 達成率 | 進捗点数 | | | | 進捗点数 | | | |
| 常陸那珂 | 加藤丈 | 澤畑英 | 6点 | 0点 | 0.0% | 0点 | | | | 0点 | | | |

6-3. 3年後の目指すべき姿 (数値目標③)

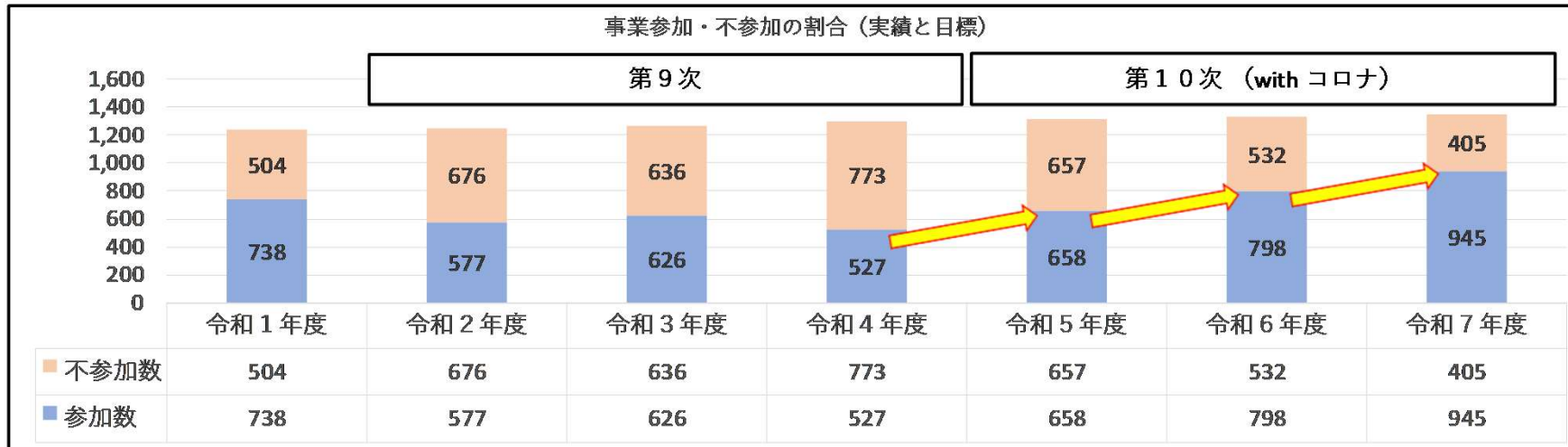
(1) 事業参加率の向上

- ①2023年度：参加率 50%以上 (第10次 初年度)
- ②2024年度：参加率 60%以上 (第10次 次年度)
- ③2025年度：参加率 70%以上 (第10次最終年度)

(2) 参加率の定義は以下のとおり。

- ①研修・セミナー・講演会・交流会等の経協事業への1回以上の参加企業数をカウントする。
- ②計測期間は年度単位とする。

| | 実績 | | 実績 | | 実績 | | 計測中 | | 目標 | | 目標 | | 目標 | |
|------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | 令和1年度 | 構成率 | 令和2年度 | 構成率 | 令和3年度 | 構成率 | 令和4年度 | 構成率 | 令和5年度 | 構成率 | 令和6年度 | 構成率 | 令和7年度 | 構成率 |
| 不参加数 | 504 | 40.6% | 676 | 54.0% | 636 | 50.4% | 773 | 59.5% | 657 | 50.0% | 532 | 40.0% | 405 | 30.0% |
| 参加数 | 738 | 59.4% | 577 | 46.0% | 626 | 49.6% | 527 | 40.5% | 658 | 50.0% | 798 | 60.0% | 945 | 70.0% |
| 合計 | 1,242 | 100.0% | 1,253 | 100.0% | 1,262 | 100.0% | 1,300 | 100.0% | 1,315 | 100.0% | 1,330 | 100.0% | 1,350 | 100.0% |



6-3. 3年後の目指すべき姿 (参考資料)

(3) 会員満足度の推移

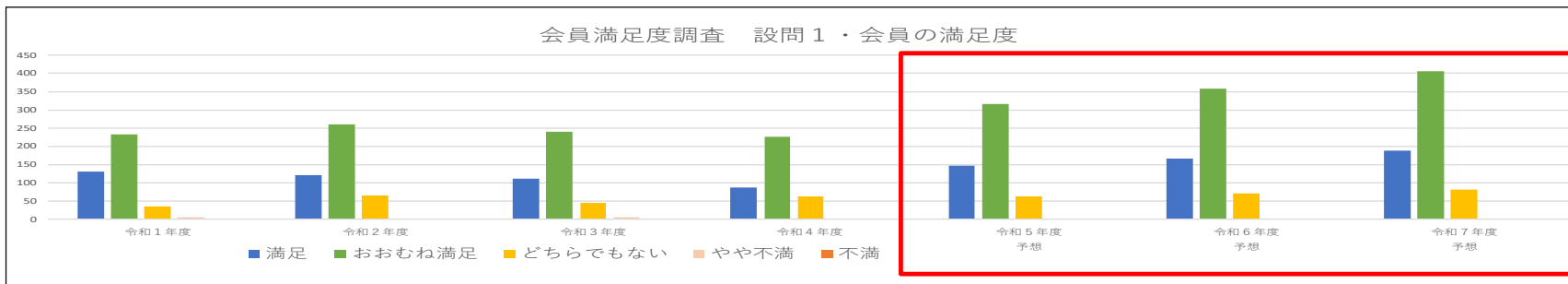
- ①前頁の『事業参加率の向上 (数値目標)』の補完データとして掲載。
- ②本満足度調査は『毎年度 9月末基準』として10~11月にかけて年1回実施。
- ③『満足~おおむね満足』を『80%以上』としていく運営を指針とする。

(4) アンケート回答状況の推移

- ①アンケート回答率を段階的に引上げ、『30%内外の水準』から『50%内外』への引上げを図り、『満足度調査』の精度を高めていく。
- ②アンケート回収は、期間制限に縛られることなく、弾力的に実施し、幅広くに会員ニーズを把握していくことも検討する*

| | 令和1年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 第10次 = 1年目 令和5年度 予想 | | 第10次 = 2年目 令和6年度 予想 | | 第10次 = 3年目 令和7年度 予想 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|
| | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 |
| 満足 | 131 | 32.3% | 120 | 26.9% | 111 | 27.5% | 87 | 23.1% | 147 | 28.0% | 167 | 28.0% | 189 | 28.0% |
| おおむね満足 | 232 | 57.3% | 260 | 58.3% | 241 | 59.7% | 226 | 59.9% | 316 | 60.0% | 359 | 60.0% | 405 | 60.0% |
| どちらでもない | 36 | 8.9% | 65 | 14.6% | 45 | 11.1% | 64 | 17.0% | 63 | 12.0% | 72 | 12.0% | 81 | 12.0% |
| やや不満 | 6 | 1.5% | 1 | 0.2% | 6 | 1.5% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 不満 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 | 0.2% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% |
| 回答企業数 | 405 | 100.0% | 446 | 100.0% | 404 | 100.0% | 377 | 100.0% | 526 | 100.0% | 598 | 100.0% | 675 | 100.0% |

| | 令和1年度 | | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 第10次 = 1年目 令和5年度 予想 | | 第10次 = 2年目 令和6年度 予想 | | 第10次 = 3年目 令和7年度 予想 | |
|------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|------------------------|--------|
| | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 | 数値 | 構成率 |
| 回答数 | 405 | 32.6% | 446 | 35.6% | 404 | 32.0% | 377 | 29.3% | 526 | 40.0% | 598 | 45.0% | 675 | 50.0% |
| 未回答数 | 837 | 67.4% | 807 | 64.4% | 858 | 68.0% | 910 | 70.7% | 789 | 60.0% | 732 | 55.0% | 675 | 50.0% |
| 合計 | 1,242 | 100.0% | 1,253 | 100.0% | 1,262 | 100.0% | 1,287 | 100.0% | 1,315 | 100.0% | 1,330 | 100.0% | 1,350 | 100.0% |



本件に関するお問合せ先

一般社団法人 茨城県経営者協会 事務局

TEL : 029-221-5301

E-mail : info@ikk.or.jp

URL : <https://www.ikk.or.jp>

【ご注意】

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には、将来の実績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の実績をお約束するものではなく、取り巻く環境の変化などにより、実際の数値と異なる可能性があります。